

# 高等学校 令和6年度（3年次用）教科

# 国語

# 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：1 単位

対象学年組：第3年次 A組～ D組

教科担当者：（A組：鎌田）（B組：鎌田）（C組：鎌田）（D組：鎌田）

使用教科書：（東京書籍 文学国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を十分理解し、適切に使うことが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、お互いに伝え合う力を高め、思考力・判断力・想像力を伸長する。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上と判断力を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。	言葉を通して積極的に他者や社会と関わったり、物の見方考え方を深めたりしながら、言葉が持つ力を認識するとともに、読書に親しむことで自己を向上させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書 読						
1 学 期	A 単元「龍」安部公房 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く寓意が表れている物を読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考える。	・指導事項 「私」と青年は、どのような人物として設定されているか読み取る。 龍を巡る「私」と青年のやりとりを読み取る。 「私」が龍を持って歩く過程を読み取り、「嫌になるほど自由だった」の意味を考える。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用 等		○	○					5
	定期考査									1
1 学 期	B 単元「赤紙の朝」宮沢賢治 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとする。	・指導事項 「とほくへいつてしまふ」妹に対する「わたくし」の思いと、妹の言葉を「わたくし」がどのように受け止めたか読み取る。 「Ora Ora de Shitori egumo」の意味を理解する。 「わたくしはいまこころからの」と言えるようになった「わたくし」の気持ちの変化を読み取る。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用 等		○	○					5
	定期考査									1
2 学 期	C 単元「山椒魚」井伏鱒二 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとする。	・指導事項 山椒魚の置かれた状況を読み取る。山椒魚の悲しみや嘆きといった心情について理解を深める。 小エビの侵入に伴う山椒魚の心境の変化を読み取る。 蛙を閉じ込めた山椒魚の心境について考える。 山椒魚と蛙が和解に向かう経過について整理する。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用 等		○	○					6
	定期考査									1
2 学 期	D 単元「舞姫」森鷗外 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとする。	・指導事項 この小説が回想形式になっていることを読み取る。 豊太郎が「まことの我」に目覚めるまでの経緯を押さえ、官長や留学仲間との関係性を理解する。 エリスとの出会いから妊娠までの過程を理解する。 帰国かドイツにとどまるか迫られた豊太郎の心情の動きを読み取る。 天方伯にすぎる豊太郎の心情を捉える。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用 等		○	○					6
	定期考査									1
3 学 期	E 単元「龍」横溝利一 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の構成を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとする。	・指導事項 情景描写に用いられている修辭的表現の意味とその効果について理解する。 それぞれの客が置かれている状況と、彼らの心情をよみとり、なかなか出発しようとしないうる客とのすれ違いを理解する。 出発から事故までの描写の中で、「目の大きな龍」が担っている役割を読み取る。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用 等		○	○	○				9
	定期考査									
								計		35